

IV-48 街づくりに対する住民ニーズに関する研究
- 栃木市の“蔵と巴波川を生かした街づくり”をケーススタディーとして -

東京工業大学大学院 学生員 松本 茂
宇都宮大学 正 員 永井 護

1. はじめに

街づくりにおいては施策の有効性、及び実現性の両面から住民ニーズを十分に把握する必要がある。

本研究では、街づくりにおける基本方針と住民属性、及び住民属性と個別施策との関連を明らかにし、住民ニーズからみた有効な施策の組合せを検討することを目的とする。

本研究の流れは図-1に示すように、住民アンケート調査を実施し、街づくりの基本方針に対する賛否を指標として住民のグループ分けを行い、各グループごとに施策のニーズを測定し、有効な施策の組合せを検討する。

2. 調査概要

アンケート調査の概要及び内容を表-1に示す。調査地域として栃木市の中心市街地のモデル地区を選び、この地区においてアンケート調査とヒアリング調査を実施した。

3. 街づくりの基本方針に対する賛否と住民属性

表-2は数量化理論Ⅱ類を適用し、街づくりの基本方針に対する賛否を要因分析した結果である。有効な属性として年齢、住所、職業、居住年代、蔵所有の有無、が挙げられる。中でも、職業において自営業者であるか否かは、街づくりの基本方針に対する賛否において影響力の大きな要因であるといえる。

さらに、これらの要因を用い、住民分割を行った結果が図-2である。全体の街づくりの基本方針に対する支持率(基本方針支持率)は56.7%となり、過半数の住民に支持されている。その中で基本方針支持率が特に高い賛成派として、第1、第2、

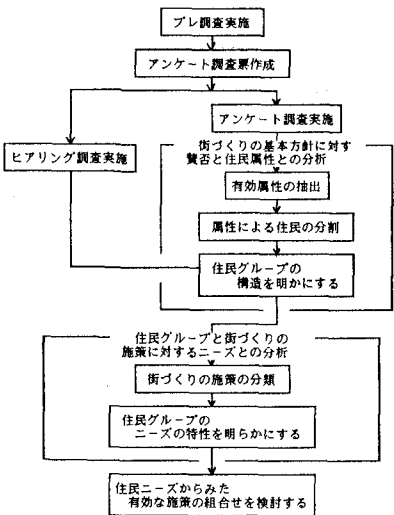


図-1 本研究のフローチャート

表-1 アンケート調査概要

調査日	昭和62年9月17日～26日
調査地域	栃木県栃木市栃木駅周辺の蔵や巴波川をもつ五つの町内
調査対象	満20歳以上の住民全員
配布・回収方法	自治会を通し各個人に直接配布・回収
回収率	63.7% (973名/1528名)
アンケート内容	1. 回答者の属性の把握 2. 街づくりの施策に対するニーズを問う 3. 蔵の街としての栃木市の認識度を問う 4. 街づくりの基本方針への賛否を問う

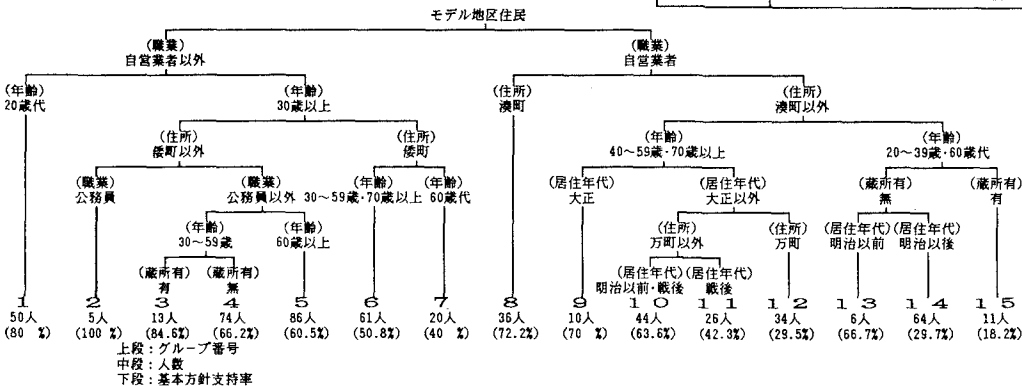


図-2 住民の分割

第3、第8、第9グループが、逆に特に低い反対派として、第12、第14、第15グループが挙げられる。そして、街づくりの動向を握る蔵を所有するグループとして、第3グループと第15グループが挙げられる。30歳代から50歳代までの働き盛りで構成され蔵を所有している第3グループは、基本方針支持率が84.6%と高く、今後街づくりを進める上で中心として期待できるグループといえる。また、街づくりの担い手として期待していた自営業者で構成され蔵を所有している第15グループは、基本方針支持率が18.2%と非常に低く、是非とも街づくりへの理解を求めたいグループといえる。

4. 住民グループ別街づくりの施策に対するニーズ

表-3は住民ニーズの特性を明らかにするためにグループ別、施策別に分散及び標準偏差を算出した結果である。施策によりニーズの差が大きいグループとして、第2グループ、第3グループ、第13グループ、第15グループが挙げられ、グループによりニーズの差が大きい施策として、④⑥⑦⑨が挙げられる。その中でも、第3グループは、⑨に対するニーズが平均より30%以上高く、逆に⑥のニーズが0%と低く、「生活、文化的色合いが強くなり、元通りに復元しようとするグループ」といえる。また、第15グループは、②⑥⑦⑨のニーズが平均より30%以上高く、逆に④のニーズが0%と低く、「元通りに復元しようとするグループ」といえる。

5. 住民ニーズからみた有効な施策の組合せ

地域住民全体に受け入れられる街づくりの施策を検討する上で有効な施策として、以下の点が挙げられる。

●巴波川周辺整備

全体のニーズの⑤と、反対派のニーズの②、そして巴波川沿いの住民のニーズの⑥

●蔵の活用

全体のニーズの⑨⑩、そして蔵所有者のニーズの⑭

●街並み景観整備

全体のニーズの⑪⑫、そして反対派のニーズの⑭

●観光及び商業の活性化

全体のニーズの⑮⑯と、自営業者で反対派のニーズの⑮

6. おわりに

本研究はアンケート調査だけの属性に限定して住民ニーズを測定したが、意識は個人のサーメイションだけで決定するものではなく、パーソナリティなどの要因についても検討することが今後の課題である。

参考文献

橋本和彦、蔵のあるまち、新都市、第10号、P.128~137、1987

高橋芳明、草津町における行政サービスに対する住民の需要特性に関する研究、1977

表-2 街づくり基本方針の賛否の要因分析（数量化理論Ⅱ類）

アイテムナンバー	アイテム名称	範囲	偏相関係数
カテゴリ-ナンバー	カテゴリ-名称	サンプル数	カテゴリ-数量
No. 1	年齢	1,68076	0.13687
1.	20歳代	58	-0.93580
2.	30歳代	78	-0.35778
3.	40歳代	100	-0.21187
4.	50歳代	111	-0.46459
5.	60歳代	116	0.74495
6.	70歳以上	77	0.16510
No. 2	住所	1,55740	0.14537
1.	徳町	183	0.59418
2.	方町	115	0.01104
3.	渡町	90	-0.96323
4.	渡町	100	-0.05457
5.	入舟町	52	-0.34340
No. 3	職業	1,69705	0.15041
1.	公務員	17	-1.08652
2.	会社員	96	-0.37015
3.	自営業	231	0.61067
4.	主婦	93	-0.86824
5.	その他	103	-0.21181
No. 4	居住年代	1,45522	0.11550
1.	明治以前	74	-0.08438
2.	大正	60	-1.24330
3.	昭和(戦前)	144	0.17584
4.	昭和(戦後)	262	0.21191
No. 5	蔵所有の有無	0.00838	0.00098
1.	有	90	-0.00782
2.	無	450	0.00156
外的基準	基本方針の賛否	相関係数 $r^2 =$	0.07071
カテゴリ- 1.	賛成	306	-0.23254
2.	反対	234	0.30409

但し、カテゴリ-数量の小さいカテゴリ-ほど、「賛成」に寄与する。

表-3 住民ニーズの特性

住民グループ別	分散・標準偏差	分散・標準偏差	分散・標準偏差
グループ番号	分散	標準偏差	
第1グループ	55.3	7.4	
第2グループ	23.5	4.8	
第3グループ	13.5	3.7	
第4グループ	5.6	2.6	
第5グループ	27.6	5.3	
第6グループ	15.3	3.9	
第7グループ	54.9	7.4	
第8グループ	41.8	6.5	
第9グループ	41.2	6.9	
第10グループ	40.4	6.4	
第11グループ	65.5	8.1	
第12グループ	34.4	5.9	
第13グループ	19.7	4.4	
第14グループ	23.5	4.8	
第15グループ	30.3	5.5	
施策No.	(施策の種類)	分散	標準偏差
①	(巴波川周辺整備)	(101.0)	(10.1)
②	橋の脇に広場	6.1	2.5
③	橋を歴史的にする	18.4	4.3
④	風水性	7.1	2.7
⑤	水質改善	5.4	2.3
⑥	水量増加	25.3	5.0
⑦	川辺に広場	11.1	3.3
⑧	記念碑の設置	6.3	2.5
⑨	(蔵の活用)	(51.7)	(7.2)
⑩	記念館活用	11.0	3.3
⑪	保存修繕をはかる	4.7	2.2
⑫	活動の舞台	5.6	2.4
⑬	店として活用	9.4	3.1
⑭	倉庫として活用	12.9	3.6
⑮	車庫として活用	1.8	1.4
⑯	住居として活用	6.3	2.5
⑰	(観光商業活性化)	(115.1)	(10.7)
⑱	面影の再生	14.3	3.8
⑲	電線地中化	2.7	1.7
⑳	風雨等の整備	7.0	2.6
㉑	緑を増やす	16.8	4.1
㉒	舗装等の整備	22.2	4.7
㉓	西洋館の活用	17.5	4.2
㉔	色の統一	7.3	2.7
㉕	文字牌の設置	7.8	2.8
㉖	(観光商業活性化)	(99.3)	(10.0)
㉗	駅のを盛り上げる	10.7	3.3
㉘	駐車場を設ける	13.4	3.7
㉙	休憩所を設ける	17.0	4.1
㉚	案内標識の設置	3.7	1.9
㉛	観光資源の開発	18.9	4.3
㉜	夜の街おこし	6.5	2.3
㉝	レストランを増やす	2.7	1.6
㉞	郷土料理店を増やす	6.3	2.5
㉟	大型店舗の導入	15.4	3.9
㊱	観光コースの設置	5.6	2.4